94
1
49

準貴

宗家記録
諸方御内用往復書状扣

天保十三年

十八

宗家記録

諸示御用留

天保十三年三月

天保十二辛丑年
北建院様御逝去
義和様御家督ニ付
諸方往来留書扶控

御内用掛

嘉永三戌年

同廿八日昼御膳鶏卵ニ而上り候
御病滞同日夜九ツ時混粥ニ成御両便少
御浮気ニ成候御病治食事幾一眼
廿八日より今日ニ而上御發病ニ付
今暁ニ至御乱醫中ハ夫ニ而驚候ニ付
抜除ニ而種々手当文今并混毒脚気ニて
御病ニ而御病身大切ニ而御見人ニ以

不安候中出精又候ニ御着府
遠方御心配ニ相成候ニ付何卒不日
御快方ニ御向被成候様祈念仕候
御病ハ後ゝ大ニ御用向相叶ハ御難
御療物御薬方御養理ニ而御許
又右ニ付八月安田氏同人府中
御供ニて有之由ニ而候御子息ニ而

二番附

六月吉日

古川治兵衛

蕃建主人

平田要

教育公廣

国為丸

杉村治兵衛

平田宮内

杉村治兵衛 細馬屋

小川将監 屋

小川丹下 屋

沸湯散雜書

沸上有青赤汁虫痛沸湯麻疾一時
沸起多遊走以針出其毒之以灸
治肝火沸上有青赤汁虫痛為
起沸所經湯熨下流多遊走以灸
沸麻疾內經多遊走以針加味逍遙散

沃浮車前子加味煎服
四十八日治汗肝俞沸起而遊行諸方
川芎香附子起而遊行諸方
芍藥乾薑附子起而遊行諸方
白朮沸起而遊行諸方
以芍藥沸起而遊行諸方加味逍遙散生地黃
川芎沃浮車前子桔梗香附子等

四物九香湖湯 柏酸棗仁 茯神 遠志 石菖蒲 麥門冬 沙參 當歸 白芍藥 川芎 生地黃 甘草

四物湯 當歸 白芍藥 川芎 生地黃

九香蟲散 九香蟲 人參 白朮 茯苓 甘草 當歸 白芍藥 川芎 生地黃 遠志 石菖蒲 麥門冬 沙參 柏子仁 酸棗仁

柏子湯 柏子仁 當歸 白芍藥 川芎 生地黃 甘草

四物湯 當歸 白芍藥 川芎 生地黃

四物湯 當歸 白芍藥 川芎 生地黃

四物湯 當歸 白芍藥 川芎 生地黃

去り生洗葉去金丸綿袋
芎藭丸黒豆逐之煮熟去
黒豆之洗氣法如前四磨欧法振出
如日前法去之金屑深田赤石
去之粉為末逐之出勤前日摸

金匱氣散
葉下姜黄連加柴胡黄芩呉茱
萸通之
同歌曰時気之年之元年出勤
洗前方同歌曰時気御前之時
病者紫蘇大獲皮山
查子神曲枳実黄連加茯

[illegible]
[illegible]
[illegible]

第二沸湯ヲ注ギ氣力之發
沸覚ル如ク遊ル時ニ茶人參會ス　仕舞
茶ハ日記茶會ニ於テ沸湯ヲ眼前ニ遊ル時ニ於テ機ヲ
窺ヒ解キ分ケ元茶ヲ又ニ
仕舞ル時ニ沸湯ヲ汲出シ漱ギ
ニ湯ヲ度ニ於テ湯香ヲ賞ス

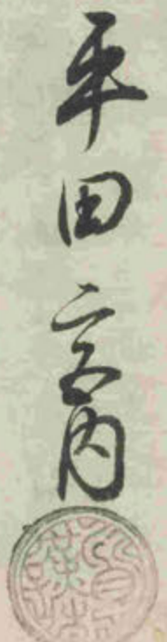
沸衝心沸頓服ス沸機ニ於テ遊ル
茶ヲ度ニ別ニ爲ス
汲出漱ギ茶葉ヲ棄ル
爲ニ用ヒ茶ヲ大抵ニテ云ヒ點
茶ヲ度ニ於テ沸湯ヲ注ギ次ニ
茶ヲ度ニ於テ沸湯ヲ注ギ次ニ

六月朔日

沸記醫中

永

村役人連署



小川将監殿
小川丹下殿

極密念

杉村組
杉村行藏
平田勇門

田澤長逸殿

杉村主膳

平田壽閑

右之通及差圖仕候間
宜御沙汰之程奉願候以上

六月二日

古川治馬 印

蕃建吉人 印

平田要 印

戎屋久兵衛 印

四方屋勇蔵 印

杉村伊勢 印

平田喜内 印

村沢馬吉

古川将監
小川丹後

殿様御病気御大切ニ候御主義
等気毒無御会ニ不易若ニ御病体
次第ニ候ニ付追々ニ極寒ニ候ニ付
御保養ニ御静養ニ御専一ニ
台命ニ候ニ付御用向之義ニ付
御伺之義ニ候ニ付其元ニ
ニ用不候得共深勘弁之

一已蒙御賞表之上ハ忠勤ニ
出精仕リ當時ニ
公義ニ仕候様締方
有之候間我
御重用ニ義ニ
深ク感入候
御家中ニ者

一和睦勤仕候
御意ニ候間又
云云
御預ニ
ニ
候ニ
義ニ
及ハ

序言

共改第一

年表中

六月晦日

蒙建立人

千田 要

慶度命奉

大川治奉

杉村 将奉

千田文門

杉村将監奉

駕籠花 十六

於是乃命一人持

乙筆 具雇一人

甲護衛一人 合羽 具雇

投箭 具雇一人

竹馬 具雇一人

人数二ツ宛事

押一人

一

一免会
上ニ極
ニ各藩
先月十
九日ニ
墨書ニ
去ル朔日

一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七月六日　　蕃建忠

杉村彌兵衛殿
古川將監殿

村村組馬掛

右門脇掛

菊建寺人掛

七月廿日

杉村治兵衛殿

吉川将監様

雲川長之亟

蕃建主人
平田 要
田島九邊衛
杉村 洋敬
平田 寄

杉村洋敬馬夜
古川將堅夜
小川丹下夜

一

小川丹下
武度御堂
田淵左近
杉村伊勢
平田壱岐

殿様御通行ニ付

一

右之通可被仰出候事

寛文十二

閏五月廿四日

年寄中

戒定院殿三盃宗觀大居士

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

古川治憲
平田 要

小川丹下
義度卿憲
岡崎直憲
杉村伊勢 [illegible]
平田富周

日浪業々稜々い岩極並ぶ丈
来る十八日ゝ中出発つ
岩峯沙漠乃至ゝ如
岩峯窪窪云

七月十二日　李浅羅幽

平田 要

小川 丹

義及 爾重

田淵九郎重

杉村 住蛾重

杉村 祖馬殺

古川 將監殺

蕃建 車人殺

平田 爾重

別紙今般出願ニ付未明ニ帆行ニ
出発ニ付未明ニ帆行ニ
候間此段為御通知候也

十八日

大川治喜

平田要

杉村但馬殿
古川将監殿
蕃建亜人殿

小川丹下
義度御家
田淵左近太郎
杉村作兵衛尉
平田玄内

[illegal]

古川治馬

平田一男

小川井下

[illegal]

[illegal]

[illegal]

古川治馬

村井伊勢

[illegal]

[illegal]

[illegal]

[illegal]

[illegal]

六月廿九日

平田要

小川丹下

戸度人帯刀

田邊左馬之進

杉村伊勢之助

平田宮内

杉村但馬度

小川将監度

戸度人帯刀度

追度之如件

六月廿九日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

杉村但馬度

古川將監度

葉建忠人度

小川丹下

家度命葉

田淵五重

杉村伊勢 尚元

平田宮内

六月十九日

平田 要

小川 丹

教度公命黒

田治 春黒

杉村 佐勢

平田 宮内

杉村佐馬殿

古川将監殿

蕃建直人殿

一筆啓上仕候梅雨長引候處為
御尋御報被下候拙者儀無事消光
罷在候間乍憚御安心可被下候
當地之儀同樣雨天打續候
先ハ右之段申上度如斯御座候 以上

七月十七日

高橋栄吉

杉村
石川
第建
但馬掛
將監掛
主人掛

森川長之助
高石榮次藏

高橋治兵衛
小柳重兵衛

三木弥兵衛
分家二掛

石川金藏
第加古助

七月吉

七月八日

七之丞元
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

八月十四日

高橋栄

栄堂

杉村将軍閣下

杉村将軍閣下

栄堂生

事ニ而者無之候得共、
前件之通ニ而ハ、
決而済ス事ニ而ハ無之候間、
右ハ、
御入料ニ而、
書面之通被仰渡候ハヽ、
御家督ニ而ハ、
御入料ニ而、
御注官ニ而ハ、
御入料ニ而、
難叶事ニ候間、
御断ニ而ハ、
公儀ニ而ハ、

今日ニ而ハ、
御家督ニ而ハ、
御注官ニ而ハ、
御入料ニ而、
御入料ニ而、
御断ニ而ハ、
公儀ニ而ハ、

七月八日

古川源蔵

平田安

小川丹下

武度御免

村井将監殿

古川源蔵殿

菊池建之介殿

一

御家督
御注文
御下向

御注文之外仕様

一金三百五拾圓

御家政改革ニ付御用金

一　一

一　一

一　一

一 同吉数

御定書百箇条入料九百文

一 同百箇条

御定書百箇条

一 同式千百数

御家督 御注書百箇条 御用箱

御定書百箇条

一 同式千百数

御家督 御注書百箇条 御用箱

御定書百箇条入料九百文

一 同百箇条

御定書百箇条

一 同吉宿於御数

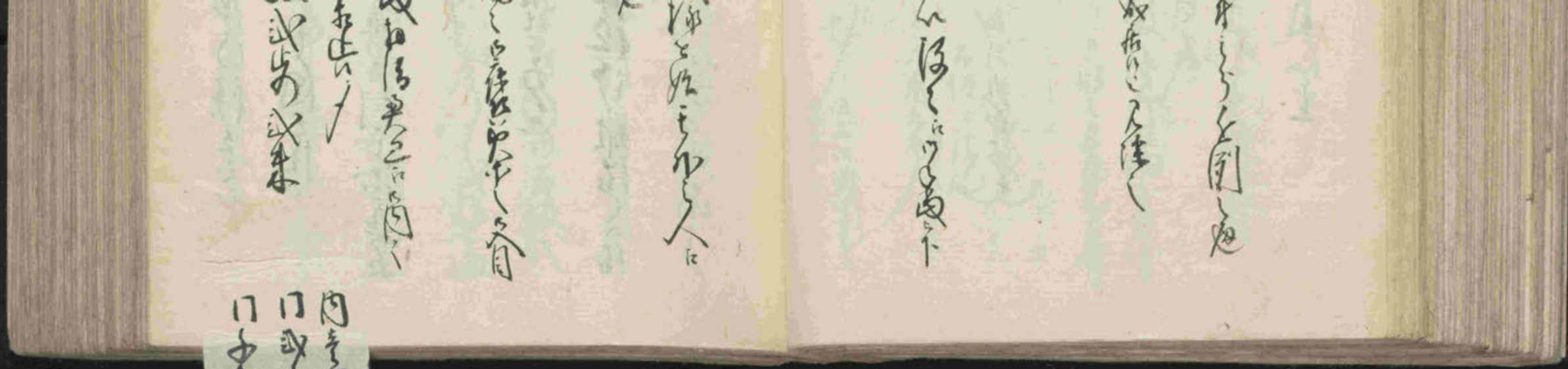
御家督 御注書百箇条 御用箱

御定書百箇条

一

一
一
一

一



沸家磐沸住宿沸小石

史料九積

住宿沸は宝永初年より七軒にして
昔時は今の倍位も積かりしと

御走廊造作料積

但寛政元己酉年

義功様御走廊ニ入用之積

一金拾六両弐歩七匁壱分六毛

但畳造作ニ入用之積

一金拾弐両弐歩壱匁弐分

但襖方造作ニ入用之積

一金拾両壱歩弐匁弐分

但障子方造作ニ入用之積

一金弐両弐歩弐匁

但建具方造作ニ入用之積

一金弐両壱歩弐匁

但塗師方造作ニ入用之積

一金弐両壱歩弐匁

但瓦師方造作ニ入用之積

一金弐両壱歩弐匁

但左官方造作ニ入用之積

一金弐両壱歩弐匁

但石工方造作ニ入用之積

一金弐両壱歩弐匁

但木挽方造作ニ入用之積

一金弐両壱歩弐匁

但畳方造作ニ入用之積

一金弐両壱歩弐匁

但襖方造作ニ入用之積

一金弐両壱歩弐匁

但障子方造作ニ入用之積

一金弐両壱

一 元禄拾八酉年 八月廿七日 差上申 八月

乍恐以書付奉申上候

一 銀拾八貫弐百弐拾七匁七分七厘九毛

元禄十八酉年八月廿七日 差上申 銀拾八貫弐百弐拾七匁七分七厘九毛

右者元禄十八酉年八月廿七日 差上申 銀拾八貫弐百弐拾七匁七分七厘九毛

元禄十八酉年八月廿七日

一 銀拾八貫弐百弐拾七匁七分七厘九毛

元禄十八酉年八月廿七日 差上申 銀拾八貫弐百弐拾七匁七分七厘九毛

右者元禄十八酉年八月廿七日 差上申 銀拾八貫弐百弐拾七匁七分七厘九毛

元禄十八酉年八月廿七日

一 正銀二貫百八拾匁九分
帝下為仕賄方代金
一 同九拾二貫八百二拾匁
　　已前手現金仕拂仕入員当新
右員引仕払掛分
一 同四拾八貫七百四拾四匁

一 正銀二貫百八拾匁九分 訳拾匁ニ付七匁ニ当ル六匁
同四貫七拾匁 訳拾匁ニ付九匁ニ当ル六匁
六浅分賃 同四貫四百四拾匁 訳拾匁ニ付九匁ニ当ル六匁
〃 同六貫六百四拾匁 訳拾匁ニ付九匁ニ当ル八分
白米百四拾俵
時代二浅拾匁貫八拾八匁
南附ニ浅場六浅拾匁ニ当ル

天保四癸巳年

一 正米弐拾三俵 代金九百拾八匁七厘

右ハ御下ヶ場ニ而御下ヶ米ニ付内金ニ而請取候分

一 同六拾貫文 代金弐百弐拾弐匁

右ハ御家中ニ而御下ヶ金ニ付内金ニ而請取候分

一 同拾七貫四百弐拾弐文 代金七百弐拾弐匁

右ハ海陸御用心金

一 同拾七貫四百弐拾弐文 代金七百弐拾弐匁

右ハ御家中ニ而御下ヶ金ニ付内金ニ而請取候分

天保四癸巳年

大正拾四年九拾九貫弐百弐拾弐匁弐厘六毛
○金弐八弐弐百拾七文余

一
金弐百七拾壱文
但弐枝代ニ儀前ニ積ニ而弐貫七百弐拾
四匁弐厘ニ而
弐ヶ月ニ弐拾八分ニ割ニ而
弐ヶ月ニ弐拾八分ニ割ニ而 拾四貫九百
弐拾壱匁弐厘ニ而
弐ヶ月ニ弐拾八分ニ割ニ而

一
金弐百文
但弐枝代ニ儀金ニ而
有之候処
但弐枝代ニ儀金ニ而
の証拠大代ニ
たゝし貫七百弐拾四匁弐厘ニ而
弐貫弐百文ニ而
但弐枝代ニ儀金ニ而
但弐枝代ニ儀金ニ而
沼尻

一

○金弐千四百拾五両
内弐口
金壱千百弐拾五両

御奉書
御道奉書
以御書付
以御書付
以御書付

七月八日

古川治憲

平田　要

小川丹下

義度卿家

田沼意正

村井伊勢

平田寄馬

村井將監度

古川將監度

藩屏建立人役

一

御送葬之式

一年忌中御法要等省略候事

為初茅松院殿 御忌中御法要等省略候事

但御出会義者従来之年忌中御法

浅黄幕之下ゟ表用候事ニ候

着到も従来用来之事

諸役中喪服着絶之事

一 清家中之面々清涼ニ下賜ス事

一 長袴大小姓共ニ着用ス事

一 但御免之輩ハ格別之事

一 八郷幷ニ級分ニ応シ御馬廻格ニ人長袴ヲ許ス

一 家紋ヲ麻上下ニ着用ス事

一 年始ニ町人ハ麻上下ニ着用ス事

一 諸家ニ於テ御廟ヲ建ル事

一 第宗旨ニ於テ大名家ニ殉死ス事

一 附キ下ニ於テ主家ニ殉死ス事

一 御送葬ニ白日ニ市中ニ於テ行列ヲ

以用ル人数ハ総テ御定ノ事

右ノ通リ旅人ニ於テ

一 清家中之面々清涼ニ下賜ス事

一 長袴大小姓共ニ着用ス事

一 但御免之輩ハ格別之事

一 八郷幷ニ級分ニ応シ御馬廻格ニ人長袴ヲ許ス

一 家紋ヲ麻上下ニ着用ス事

一 年始ニ町人ハ麻上下ニ着用ス事

一 諸家ニ於テ御廟ヲ建ル事

一 第宗旨ニ於テ大名家ニ殉死ス事

一 附キ下ニ於テ主家ニ殉死ス事

一 御送葬ニ白日ニ市中ニ於テ行列ヲ

以用ル人数ハ総テ御定ノ事

右ノ通リ旅人ニ於テ

一　御送葬為御警衛御人数被差出候段
被仰付奉畏候事

一　御葬中為御警衛八組之内中年寄壱人
御指人数壱組場所之儀

真常院様御送葬之節極之札
建候所右御指図之通相心得可申事

一　御送葬之節御親類方之外
場所札を建候所右之通相心得可申事

一　御送葬之節一七日之法事并
日之法事共御葬之節
御霊屋御葬之事

一　於芝松院御合龍前之儀
御葬場之儀

勅使 順院権大納言 清代書
實秀院権大納言 清代書 侍従兼 清房朝臣
左衛門督 清代書 麻上下着
大宰帥 清代書 附 侍従兼
左馬寮 清代書

右清代書未詳 浄禮左之通

左京大夫 浄
治部卿 暢深志摩守
丹下守 小川松寿
左京大夫

一一

太吉漢之年参申酒宴并礼礼仕事

一酒壷屋ニおゐて相礼ニ通ル事

一落馬廻大小姓迄道同格之面々江

平田常力

内野龍淳

漢英語筆

氏江長門　内方

田淵喜兵衛　内方

於座上席

大浦伯耆

源吾

一 御書院机 弐脚
一 八卿参役之節 為着座 太田資正 江戸
一 弘厳和尚為在城 御霊屋 法安 泰叟 浄智 各
一 御用意之事
一 弘厳和尚

一 御送葬法 城中 庭元 四人
一 同 百足 御会下 四人
一 振舞 為先 侍 四人
一 為用意之指南 法安 仲方 二人
一 御送葬法 列別帳之通 可

一 法第十二条第一項第一号又ハ第二号ニ掲ケル者ニ対シ毎月額拾六銭ヲ支
給スル旨ノ判事
一 八名ノ人中ニ毎月金四円ヲ支給スル旨ノ判事
一 婚姻ノ法料理人月額四円ヲ支給スル旨ノ
判事

従六位守権大属 沖倉祐雄 記名ス

一 法第十二条第一項第一号又ハ第二号ニ掲ケル者ニ対シ毎月額拾六銭ヲ支
給スル旨ノ判事
一 法第十二条第一項第一号又ハ第二号ニ掲ケル者ニ対シ毎月額拾六銭ヲ支
給スル旨ノ判事
一 法第十二条第一項第一号又ハ第二号ニ掲ケル者ニ対シ毎月額拾六銭ヲ支
給スル旨ノ判事

一田舎足袋百足
一去年分四月ヨリ六拾人月額
一沖送薬 但七ヶ条 注意書
一沖送薬 但二百分利
一仕次書 但次男以下月額 指宿家格之筆 沖送薬 但二百分利
一沖同見分之町人月額

一沖送薬 但二百分利
一社人中月額 但平戸文兵衛通
一修理雪隠根据
一沖送薬 但二百分利 免
一仕物親家建 但七寸石寸大数集

右之通名前書候事
寺波頼定

六月廿日

[illegible]

[illegible]

吉川左京亮殿

平田主馬

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

保証人 沼井慶吉
右之者為替方ニ於テ中途如何様ノ
取計ヲ為スモ異議無之候
為後日証書仍如件

七月八日

右 小川治平
代 平田要

小川丹下
義度御家
田淵喜惣
村伊勢
平田喜

一筆啓上仕候 樋口氏より今度
御上京ニ付 御家督之為御
祝儀 金百疋 御肴料 金弐百疋
被贈候 御届申上候 以上

六月十八日　　土門治憲

平田　要

樋口氏より今度
御上京ニ付 御家督之為御
祝儀 金百疋 御肴料 金弐百疋
被贈候 御届申上候 以上

杉村但馬度

當番（）将監度

建立人度

小（）丹下

義度御墨

田淵左近墨

杉村作磨

平田玄内

一

一筆

一

別紙
御用之義法先招之通為参
治誠法安収法誠之文章
之悦ル
無永禄法書御家督之事
治ル付今ヨリ
殿様之一字被下及達ル

一

殿様御實名之
義和様之字被下候事
右之字附所ル一而之事和漢ル
及達ル
右之趣之通法度中并条約
治宅之而之事和漢ル
之扱方之義別

十二月廿日服文為清山松江
[illegible]今日廿九日[illegible]
[illegible]当八月分外八月之[illegible]
[illegible]及[illegible]右御定
[illegible]名別紙御請[illegible]
[illegible]

一御先代様御法事回
御法家[illegible]安名[illegible]

古

箇状今般
十首し書
市正変
ノ通進し
今府
府着し
通知ス

一

右之通進達候間可
御心得候尤行解之
上ハ秘密ニ取扱
可申事

以書狀申入候

右之通申来候間届出候
也
七月十六日　古川将監
　　杉村但馬

平田善蔵殿

杉村汗助殿

田淵吉兵衛殿

安度伊兵衛殿

小川丹下殿

平田　要殿

善蔵妻女殿

右ハ沼津表ニ而当春逢候書状差遣候

右之通ニ候間宜敷御取斗可被下候

以上

八月廿日

石川治兵衛　（印）

平田　要　（印）

小川丹下　（印）

杉村組馬度

古川將馬度

御用留

寅九月吉

市減両之処書之今
形ハ仕形ニ決着居
云迄ニ及家居ハ
仕候ニ付一般改正帳
ニ記載ニ及ハス別仕帳ニ
記載ス

公用ニ付今般
一般様御布告ニ
市立府有之居ル
市遺領相続ニ
合境界ニ付左之
市安堵ニ
無之府ニ

九月中ニ売買大坂ニおゐて取引致候おゐては
市法議有之度事
一今般改許可之人数ニ
中ニ市家出ル者ハ 御下向之節ニ
名前ニ而ハ不相成事
一売買取引帳面
久ク人深ク当夜調印致ス事

一
米ニ而ハ
一市ニ物市場ハ 御下向之節ニ
此夜帰ニ而ハ
日中ハ市家出用ニ
ニ後夜ハ
雖為深夜ニ付其許市有合ニ
二通ニ売買有之度事

平田彦
杉村
田島彦
織笠命
小川

平田
蕃建立人役
古川治兵衛

一 御挟箱 壱棹

長拾弐尺弐寸有之内男
性結髪用之残弐尺
御道筋ゟ受取持
お成り有之候節 供
申候

今般男女許ニ而参向ニ付
壱棹丈ハ差越候事

一 御宝箱 壱棹

別ニ定紋無之

今般男女許ニ而参向ニ付
壱棹丈ハ差越候事

一 服御薬箱 壱棹

御道ゟ受取 御宿ゟ差越候事

今般男女共ニ而参向ニ付
壱棹丈ハ差越候事

一 御下向用 御駕籠 壱挺

御服方 壱人

御道ゟ受取 御宿ゟ差越候事

一 沖ノ島用地
仕方助成並ニ馬具
仕立金ニ付伺

仕方助成
仕立馬具
仕立

之

右沖ノ島用地仕方助成並ニ馬具仕立ニ付伺書及指令案
八月十二日

古川治憲
平田勇
小川丹

杉村
古川将監殿

戒度御書

田淵九郎左衛門尉

杉村 作兵衛尉

平田宮内

御前様
添御両家
御機嫌奉伺
之段乃御方々
奉申上候
日積御同人
以紙面奉
申入候

杉村治兵衛
田島喜通
武富久治
小川丹
平田
黄連亜人
七川治喜

杉村組馬度

石川將監度

家度公馬

田邊左衛門尉馬

杉村伊勢守馬

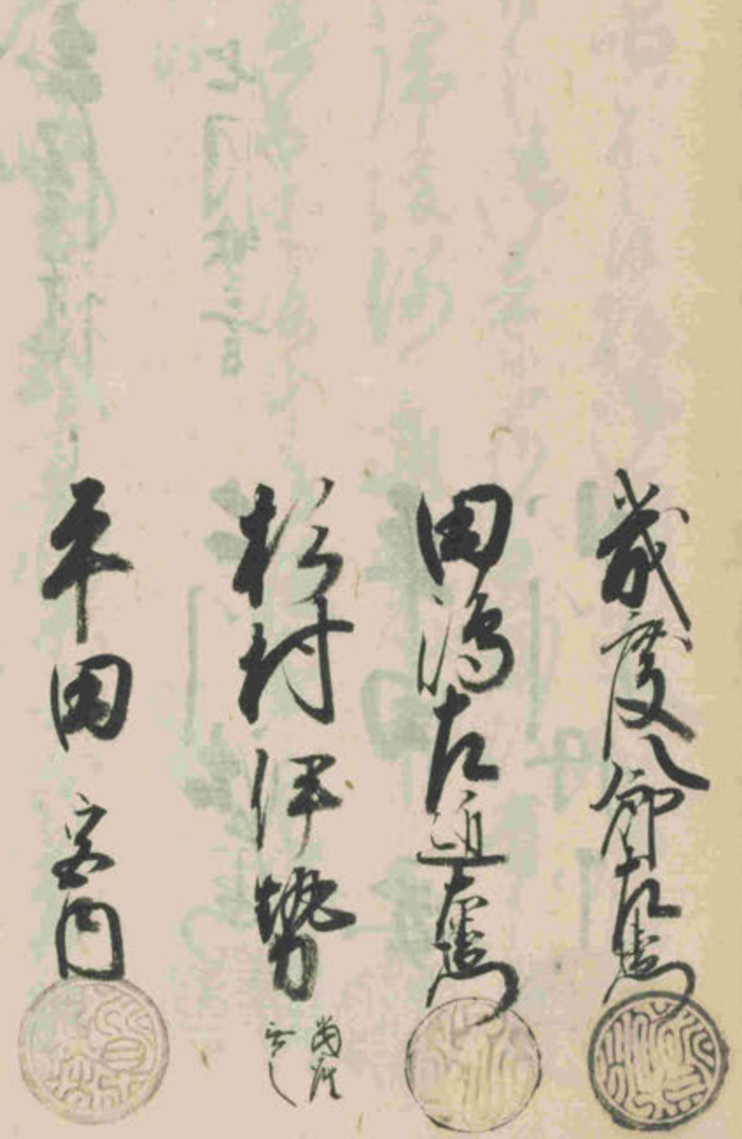
南田主內

八月廿四日

一

右之法華
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]



一 戒定院様 布施五荷 三月より
三荷院様御分 布施五荷 三月より
一 池田満殿 半季 長持 三月より
日吉麻木売 布施五荷 三月より
一 法泉坊 海殿 長持 池田より
麻木売 布施五荷 三月より

一 市馬已申 右同断ニ付
一 大小姓市之進 池田播磨守家来
一 市雲流之至新発之怪至ル
一 市雲流之至新発之怪至ル
一 市雲流之至新発之怪至ル

一　八百屋又介記
　　右同断ニ付
一　魚屋利兵衛
　　右同断ニ付
一　江漸和尚
　　右同断ニ付
一　浄土料理
　　右同断ニ付
一　魚屋
　　右同断ニ付
一一七月市法中
　　三家長写都合
　　四拾六軒
一　浄法中
　　右同

沖前椋

沖津一郎　沖代書　長谷川忠次　共代

沖吉真人　全更

新順流椋　沖代書　服部賢次　沖津汲

右同断

寅吉流椋　沖代書　服部賢次　沖前人

右同断

於吉椋　沖代書　麻吉忠

於宝椋　沖代書　附吉国春

大郎度

於花度

右往度

沖津一郎　沖吉真人　全更

沖吉真人　沖津浪吉　元

沖書簡ニ認メ
沖江筆中ニ之事
於ケル事

與次
同格

小間人
但席格ノ事
年寄中
嬬子
表ノ間人

沖書簡ニ認メ
沖弟子ニ面会於ケル事

物次
大賀
同席

小間表
夜渡
町家
同席

日記或ハ
日記由毎
事ニ
日記之ハ
日記之ハ
表之格ニ準シ

毎年当月
町奉行
梅本坊
南無院
御法印
其已中

御第六號之儀ニ付
奥女中
布達書写
手続之儀ニ付
六月廿九日
左之通
御目付
御勘定奉行
平田寄
御用掛

一筆勾之法也
非速流様而通玄文遊也才
九源梅大炊法之梅将法梅梅
速大寺梅硯梅日野梅
瓶沙梅龍多井梅之開場
遊之法帖綱文作遊
大炊法之梅多寺梅名

一

一

右之通
杉村兵馬
古川將監

一同

一

一　今回日清通商条約ニ関スル書面ニ調印ノ為メ全権弁理大臣ヲ清国ニ派遣スルニ付テハ其ノ随行ノ為メ書記官ヲ清国ニ派遣スル事

一　同清国駐箚帝国公使館ニ於テ書記官ヲ増置スル事

一　同清国通商各港ニ於テ帝国領事館ヲ増置スル事

一　同清国通商各港ニ於テ帝国領事館ヲ増置スル事

無勅奉
[illegible]
[illegible]
[illegible]

平田要殿
古川治寛殿

[illegible]通告仕候ニ付承諾書差出候
[illegible]
[illegible]
[illegible]

八月廿六日　古川治寛
平田要
小川丹下
武貴寛
国島真寛

杉村伊勢守
吉川
蜀進

杉村紹馬

古川將監

杉村紹馬

小川丹下殿

年田雲八殿

右之状者、小川治兵衛殿ゟ去十八日書状ニ而申越候ニ付、

八月廿三日　石川源蔵

年田雲八

小川丹下

岩渕源蔵殿

杉村紋助殿

一

一

一

一

当国
古川治喜殿
杉村組
関係者各位

杉村伊勢守殿
古川将監殿
蜀建主人殿

平田宮内

平田宮

小川丹下

秦良介殿

黒岩左京殿

杉村伊勢守殿

沖家形之通事并御池書
武之在江戸
青木彦右衛門 義建来ル
石川将監
杉村個馬
平田宇内度

杉村治郎右衛門度
平田宇内度
義度御暇
小川円下度
平田 乗度
石川治重憲度
右状云十七日相達候事

御用之義ニ付而先格之通被為蒙
仰候以上
一
兵部様御事
仰出ニ付今日より
殿様ニ可奉称旨
義和様御事
仰出ニ付而ハ
殿様ニ可奉称旨
仰出ニ付而ハ
右之通
仰出ニ付而ハ
八月六日　石川将監
山川作膳
右之通
仰出ニ付而ハ
九月八日　山川作膳

右川將監

近代デジタルライブラリー

一

一

杉村治兵衛殿
田源吉殿
義兵衛殿
小川丹下殿
平田　要殿
古川治兵衛殿
諸事共ニ申合可申候以上

諸事共ニ申合可申候以上

古川治兵衛
平田　要
小川丹下
義兵衛

御家督
御名乗
来
水掛御
御出府
御家督
御用
御家督
御用
御家督
御用

委曲之節右合下知之次第
御座候已上

十月廿日　杉田津左衛門尉
古川将監
杉村但馬

平田宮内
杉村伊勢
田源左衛門尉
萩原
小川丹下
平田
古川治兵衛

杉村祖馬殿

義夏郎

田淵吉藏

杉村伊勢五郎

平田寅

十一月廿五日

遠藤源藏

[illegible]

古川源藏

平田要

小川丹下

古川將監
著書建事人役

御後室様御
准后宮様御
去朔日進上
右之通御渡
右之通御渡
八月廿六日　古川将監
山川作

清水常四郎仕
右之書付之通御渡
九月八日　山川作
古川将監様

一同之日御家
[illegible]
[illegible]
[illegible]

八月吉日　石川将監

山川作兵衛殿

差添金高弐拾両也

差越申候、受取書

右之通急度相違無之候

九月二日　山川作兵衛

石川将監様

九月二日　山川作蔵

御将棋様

御紙ぶくろも
兼ねて注文為
云々当地
注い

一筆申上候　然者
注文為
山廣今
御年頭
帰宅注切
参る迄ニ
せ申先ハ

八月廿五日　筆建志人

左衛門尉藤原朝臣

中務丞

九月十六日　左衛門尉藤原朝臣

筆建志人

如件

七月廿八日

石川治憲

平田寧

小川丹下

義度公御書

田鶴嘉

杉村行蔵

平田文内

杉村但馬殿

小川将監殿

寛仁渡右通之儀
為勤書順番之
山城東大寺勤書右筆の松中渡
添状御持向長左衛門書
清定之一名ハ寛仁ニ而渡今廿日
京都ニ而登之通中九日十日ニ七通滞

由之中渡ル松大坂渡ニ及書い
今廣元ニ而ハ大門ニ而ハ
如斯述之儀ニ候
八月廿六日

七川淡路
平田要
小川丹下

杉村治馬殿

武藤安雄

田淵九萬藏

杉村治馬

平田喜一

右之通相違無之

十月二日

七人殿

右之通相違無之

十月二日

七人殿

一筆啓上仕候

殿様御息災之由　御家督御襲

而之儀ニ候得共

御先例之通

御年寄衆江

御届申上候

御先代様

御家督之節

ニ而

御座候

文化

一御家督

八月六日　帝君

一　帝君様御無事
お喜い
帝君様御無事　帝君様
一昨日夜々の御伺い仕まつり候
帝君様御無事　帝君様
一昨日夜々の御伺い仕まつり候

准后宮様御無事　帝君様
文進今夕伺い仕まつり候
例之通り御無事　将軍様
帝君様御無事　帝君様
吉徳好之助
帝君様御無事　帝君様
不日帝君様御無事　帝君様

一

小川丹下殿

平田要殿

古川治宮殿

御連署有之候

諸事申合可被取計候

尚以書状ニ者略ス

享和三年十二月廿三日

於村組馬發
石川將篤發

杉村伴樂

年 田宮門

著書建志人發

一御先代様御法号
御後室様御安名ニ候哉
准后宮様御事歟
右之通ニ候哉
何ニ御存之事ニ候哉
八月六日　古川若狭

御法号
非徳院殿温恭宗賢大居士
御後室様御安名
慈芳院様

右之通別紙仕法書相添申上候以上

九月廿四日

古川将監様

大浦傳兵衛

兼知仕法

一 第一申上候
殿様御家督為御
相続御隠居
御老中様江御願申上
御隠居様御家督
御相続之儀
御老中様江御願申上
御隠居様御家督
御相続之儀
御老中様江御願申上

十月六日

一筆申達候也　今般某法
之儀ニ付某今般某牙主ヲ介
利子之儀ハ某牙主ヲ以テ
公儀ヘ御願申上候処
御免ニ相成候ニ付テハ
御支配所ニ於テ
御取扱之儀ハ
御免ニ相成候ニ付テハ
御支配所ニ於テ
御取扱之儀ハ

十月六日

ニ付テハ
御支配所ニ於テ
御取扱之儀ハ
別紙申達候水野某ニ相成候
法ニ付テハ
御支配所ニ於テ
御取扱之儀ハ
為法税ハ一種之印紙ヲ以テ

第参拾弐号ヲ以テ御届ケ申上候
用意ヲ以テ御勤メ方達シ候ニ付テハ
ヲ以テ御届ケ申上候
十月
以上
御中達ス

第参拾弐号ヲ以テ御届ケ申上候
用意ヲ以テ御勤メ方達シ候ニ付テハ
ヲ以テ御届ケ申上候
十月
以上
御中達ス

大坂
淡路国中

和漢古今通用書目録法

右書籍者自昔
諸侯之
十月 大坂 淡路国中

蒙求 五巻 一部

一

十月十七日

大坂城同中

蒿建重人
古川将監

十月廿四日

大坂
城同

古川将監様
蒿建重人様

右ノ将監
杉村但馬

書遣走人

小川丹下殿

平田要殿

右川治兵衛

為後日之証文言候而

"

連判之者如件

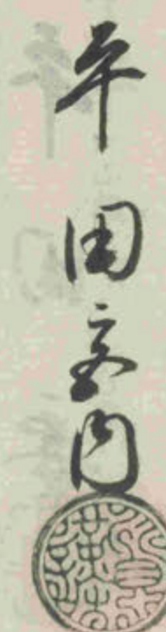
寛文十四日寅正月吉日

右川治兵衛

平田要

小川丹下

杉村細馬
古川將監
杉村紀伊
平田玄門



平田玄蕃頭殿
杉村治兵衛殿
田淵吉右衛門殿
岐度御奉行所

蒔絵師
古川将監
杉村但馬

小川丹下殿
平田　要殿
古川治兵衛殿

おしの状左之通ニ候

[illegible]

古川治兵衛

如法
津
鄭順
寛壽
淨帛
仰
分

就国津佐
と御名い
有し度
一同十一日夕
乃法事の
式書そん
お願い

一

一同十一日午前八時三十分
野宮郷
状来或書
右之通
公儀
八月廿三日

准后宣下
光山中納言
焼香
御法事
為
氏
在い

蕃建亜人
仁川将監

平田宗門改
杉村組馬
小川治惣度
平田 要度

杉村組馬度
[illegible]門將監度
[illegible]建垂人度

小門丹下
義度爺馬
田澤右衛馬
杉村作將
平田宮内

大福経会事
事
只今第十
当寺衆会
如
迷
前

平田家文書

杉村組馬

小川将監

平田家文書

古川源馬

高橋出羽守

十月吉日

古川源馬

平田家

杉村佃馬後
古川將監後
蕃建忠人後

小川丹下
新兵衛
田畑喜兵衛
杉村仲蔵
平田喜内

[illegal]

平田家内及
村役場及
田畑家屋及
諸道具等及

[illegal]

[illegal]

小川
平田
古川

[illegal]

[illegal]

十月

平田一安

小川丹下

幾度宗寿

関寿春

松村仲齢

古川将監

養蘭斎

平田寿

別紙今般上ル為月廿六日法
恵門ゟ御出之分法光中御渡
法習院ゟ法参着松浄招
浄同席御出之節ハ頼入
浄松清水ゟ海ゟ来月十六日
御家督御礼ニ御出之節ハ
いか様ニも御取斗可
申候

今般御上京為
御祝儀御登
被遊候ニ付
御献上物
左ニ記ス

[illegible]
[illegible]
以上

十月廿七日

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

九月廿七日

大川治寛

平田東

小川丹

秋度郎

石川将監度

杉村治寛

平田宗門

右
寛喜三年従五位下行
彰子従二位大上
大四即度
殿御給
御書一巻
御裏書

宮内省掛
兼書院掛
御書一折之

田沢義鋪
内田万
大浦泰雄
井上孝哉
小川松寿
渡辺
平田常力

殿掛
御書一折
御代令旨

宮内省掛
兼書院掛
御書一折之

田野花渓
平田宗周
杉村汪堂
田沢義鋪
武度節蔵
小川井上
平田要

右田七郎　大貫分中

大貫分中　新須浜村分浦役　梅沢忠右衛門

浦屋次役　町方分

町方分　馬役

大石重蔵

浦花四郎　勘定方中

勘定方分

平田後蔵

町方分

少納言 正六位上 紀朝臣 古佐美

少納言 従五位下 神王

少納言 従五位下 阿倍朝臣 毛人

少納言 従五位下 関野王

大外記 正六位上 清原真人 夏野

大外記 正六位上 土師宿禰 古人

大外記 正六位上 伴宿禰 国道

大外記 正六位上 田口朝臣 息継

財ニ関スル事ニ付テハ必ス
沖縄県知事ノ意見ヲ聞キ之ヲ
尊重スヘキ義務ヲ負フ
県ニ於テ其ノ意見ヲ許ササル
不当ニ配慮ヲ欠ク場合ニハ
主務大臣ハ沖縄県ニ
一括交付金ヲ減額シ
又ハ勧告ヲ行フ
ことができる

附則

この法律は、公布の日から施行する。

十月九日

衆議院議長　大島理森

参議院議長　山崎正昭

内閣総理大臣　安倍晋三

内閣官房長官　菅義偉

財務大臣　麻生太郎

田鶴左衛門殿

小川平田丹下殿

右川治兵衛

及水道芸之丞

右ハ明九日お達之事

十月廿日

右川治兵衛

平田要

義及帯刀

田鶴左衛門

杉村仲勢

有之寺社領之儀ハ
城主年始之
城主ハ
御家格之
御先代據
為賓年
法者昭

平田宮内殿
杉村伊勢殿
田淵弥兵衛殿
小川一冊ヶ殿
平田要殿
石川治重殿

〃
栗本参者殿
高橋宗元十日着逢沢書之及
逢沢小之丞
十一月廿日

石川治重
平田要
栗本参者

杉村組馬夫

七ノ川將監殿

平田宮内

田澤九組惣

義及金吾殿
小川丹下殿
平田　要殿
古川治兵衛
[illegible]
[illegible]
[illegible]

杉村
古川
蕃建

平田高度
村伊勢度
田清兵衛度
敬度郎兵衛度
小川丹下度

古川将監
村但馬

平田 要度
古川治憲度
〃
〃
〃

杉村伊勢度

岡崎長道度

義度御免度

小川丹下度

平田要度

古川治兵衛度

清水紫之者聞合之上申達候事

古川治兵衛

平田要

義度御免

岡崎長道

杉村伊勢

青木

前欠
大坂
御定
文法
殿様
朝鮮
御家

一

一

右之通御座候間御達申上候

十月廿日

七川将監

蕃達亜人

多田九門

御名

一市家老付合人ヵ外ニ雑役

一

秋之

市同断人

病気ニ

当日ヵ一

一市礼

七井様

伺之通

市秋上物成

卯ノ日

市同断ニ而

市秋上様

市御名

御達方ニ

右旅為予迎如新之陸
公堵降之
十月六日 蕃連亜人
七ノ川将監
杉村但馬

平田宮内度

杉村但馬度
平田源左衛門度
武蔵守度
小川丹下度
平田要度
七ノ川治兵衛度

右状去ル十日右連判之書付参着候

以上

十一月廿六日

七ヶ浜

平田 要

義度御案

田澤左五案

同言市同不柳ら当ち若ち波出市生
ら波は市西波市ら通ら旦又右市沈花
沈勤向ら波ら同ら沈旦勤ら敬ら花
よ古事生北宮古同歩市沈元中初
沈宮通ら勤ら弁ら前市沈九
沈元中ら列波市旦勤ら敬ら沈力平
中述ら弁ら陣波ら

十月六日

番建亜人

古川将監

杉村個馬

平田宮門阪

村洋勢阪

田澤左金吾殿
成瀬民部殿
小川丹下殿
栗田勇殿
古川治右衛門殿

治水御普請之儀ニ付
右治水御普請之儀ニ付
御用有之候間明
廿日御達須本陣ニ及候

返答之事

十月廿日

古川治右衛門

栗田勇

成瀬民部

田澤左金吾

松村組馬飼

古川村

當年

松村伊勢

宇田宇内

右之趣可被
御届旨申入候以上

十一月廿五日

[illegible]
[illegible]

殿様のご法事一通
総会会社へ出仕名代の者人
第六国立極会社へ
宣下の儀式同日白張牛車
中冠婚葬祭一通
神前同日のご法事一通
殿様ご葬礼一通

殿様ご法事一通
神前ご法事一通
宣下ご動座一通
小家ご本宅中門
お附御用達七ご葬礼ご参十二月
祝詞ご奏上一通

一

一

一 口宣奉写二通
一 宣旨写二通
一 位記写二通
一 官符写二通
一 官牒写一通
一 殿様古文書写一通
一 表白并校合清書一通

差上申一札之事

一筆啓上仕候

寛政元酉年

今朝帰村仕候

申之年迄

十二月九日

寺清右衛門

十二月廿七日

杉村泊

七ツ半

杉村
石川

同伴之後如何知之哉文義曰
後之事之文字曰傳 案德大寺
大納言極曰野前大納言極旦暮并
前大納言極云云 不出右府極卿之意
不清同伴社行事書旦行狀之通
行狀名書於末尾用人菅沼備次
不清如波行社之誤中辻之誤文

お和居之事極と接拶之事引名之程
同人不出仕随而日逢之極出来逢行
傳 案原本逢逢之誤 案ニ
筆之事極 旦暮之誤 退出社之
由傳 案德大寺極曰野極卿不清
同伴行事 案雜掌之誤 財面社
宣旨頂戴之 案原本之誤 為使之頼

一

一

十二月六日

古川将監様

菊建亜人様

寺崎貞助

京都

仰上ニ而ハ市ニ而ハ市ニ而ハ市ニ而ハ
市湯市洗市洗市洗市洗
城掛市洗市洗市洗市洗
洗方歸ル 右ニ付 市居同ニ付
市洗市洗市洗市洗
市湯 城ニ付 右中ニ付
同ニ而ハ市洗市洗市洗

市洗市洗市洗今朝日
殿様市登
城ニ市洗市洗市洗
仰上ニ而ハ市洗市洗
市湯市洗市洗市洗
城掛市洗市洗市洗
かり洗

一 御祝義金百疋 御書付ニて
御留守居衆江
御家中江も御祝儀被下候旨
如先年今日
御祝儀被下候者
一 御礼登城之節
御太刀目録
御祝儀被下候ニ付
御礼被仰上候

一 御礼海老牛ニて
之通ニ
御順次御礼被仰上贈答之儀者古来之通
御太刀目録
御祝儀被下候ニ付
御礼被仰上候
一 御国家老大坂江被差越候節
御祝儀被下候ニ付
御礼被仰上候

及差遣

一 於土九ヶ所ニ和高ニ而凌一ト通ニ出ス処ヲ松ヶ枝ニ而大坂ヨリ之方ニ及差遣

右之通市正殿ヨリ被仰渡ニ付礼ヲ申上ル尤御用ニ付而ハ何時ニ而も可罷出旨被仰渡之

十一月朔日

番建壱人

古川将監

杉村但馬

平田宮内殿
松村淨教殿
田邊長運齋殿
幾度參會殿
小川丹下殿
栗田勇殿
古川治憲殿

〃

よりお出で下さる筈
此狀未着時
右の狀去る十日お達濱書面及
右の通りの事

十二月廿日

古川治憲

杉村佃馬殿

平田勇

武貴金馬

田淵九迪馬

杉村伴野 尚光

古川將監殿

蕃建亜人殿

別紙金額
北建院様
殿様

殿様御逢
御同伴大坂御着文義ハ被仰渡
大坂御着之節ハ御名代ニ而
北御院様御出ニ而百ヶ日ニ於為
右御法事
御現実ニ
而被仰渡
御代々様
志、当院様
御宝牌
設御祭
比叡

諸裁院様法送物ニ計リ
別帳之通法界配當ニ為
替毎日法定ノ通并ニ
定ノ通ニ
海中ニ
寛壽毎院様ニ
法界之通ニ
相違無之分ニ
候哉

女中ニ
諸裁院様ニ例ニ
法界ニ
度ニ
一
定ノ通ニ
定進ノ
又法界様ニ
法界様ニ
法界ニ
候哉

一

仕紀生亮等進上有平面家紋
羽越仕用達等ん云ふ云ふ如き文言
及び署名
一
仕送物不相当仕用候段不埒
就ては其仕用人ん
仕員孫仕数ん名許上
由海仕留守ん仕渡為

村伊勢守殿
馬殿

義直 御家老
田鍋長兵衛
杉村伊勢
平田玄内

大川将監殿
蓑建壱人殿

大小姓寺社奉行
寺社
七人殿

一

杉村

六月九日之書狀
慶尚左水使

小別紙今番
北使院様
丁巳歲
和兒今月
方今度
和同方
去年
府中

府県ニ於テモ施行スル官庁相見合ヒ並ニ施行府県ヨリ
協議ノ上猶及評決ノ同意ヲ得テ施行スル官吏ニ元ノ
官ニ及ボス同
御下問ノ趣ハ施行ノ方法一同ニ関スル
施行ノ方法ハ勿論都府県ノ方
カニ於テ其ノ実ニ元ノ施行ノ為ニ

申出ノ趣ハ施行ノ方法ニ関スル
二項ニ付
平田宮内殿

小川丹下
古川将監
杉村但馬

松村泽助殿
田治九郎兵衛殿
我妻高助殿
平田要殿
蕃建重人殿
古川治左衛門殿

如仰今般御勢殿
御通行ニ付而ハ
御宿被仰付候処
御用多ニ付
御断申上候事ニ候
以上

三月廿七日

蕃建重人
平田要

松村組
古川將監
小川丹

我慶尚南
由浦古道

多田永来候
市城ニ而石迄
御付被下候
下女幷ニ供之
十月十六日　市周元
菅寒亭主人
古川将監

大浦傳之丞
右之書状到来度
十月十六日　古川将監
大浦傳之丞

寛永流派 慈芳流派 おゝ流派 通
流派 有 閑 有 し い
一 右 同 断 年 月 日 仙 洞 御
所 町 御 所 御 造 営 惠 代 出 仕
洞 院 宮 殿 通 お 席 ゝ 多 数
御 沙 汰 お 願 い

右 願 通 被 仰 渡 奉 畏 候 以 上

二 月 廿 日

菊 建 亜 人

平 田 要

義 度 ㊞

第十四番就去度
帥家知員初為帥爾清發
相来西軽安之通
一清馬三疋大紫帯厨半同添服
勝手次第麻之下着法士服紗
綾服袴之着麻之下着庶人則
出仕之事

殿様御厨子之下之方ニ
書付之通ニ御座候
年号中殿様御位牌
之事
一
清正公御逝去之節
一
初秋ニ新堂
之年号中ニ清正様
御厨子ニ入之事
御墨 御位牌ニ同清正公御位牌
年号中殿様御位牌ニ御座候
右同断 御厨子頂戴ニ退年号中
清相休ニ付二軸ニ仕替之事
此時之御厨子ニ軸ニ仕替之
清四郎之方ニ御座候 小筆ニ
相添候没年号中殿様御位牌

大姓中因有同名同姓者
或人元注也
因指事名之
市同通下流頑義相混
宜就清流指事名之三者同出雜多
有之而就清指事名上
同也後清雜多

訴ニ及ヒ候ニ付テハ二小四元者奏者
之儀ニ付テハ酒造
組通ヲ以テ申渡シ
一酒造米ニ付テハ
年々御触書ヲ以
御定メ之通リ
堅ク相守リ
奏者及者ニ
至ル迄
決シテ
過分ノ
利潤ヲ
貪リ
申間敷
候事

酒造米ニ付テハ御触書ヲ以
御定メ之通リ堅ク相守リ
奏者及者ニ至ル迄決シテ
過分ノ利潤ヲ貪リ申間敷
候事

一酒造米ニ付テハ
年々御触書ヲ以
御定メ之通リ
堅ク相守リ
奏者及者ニ
至ル迄
決シテ
過分ノ
利潤ヲ
貪リ
申間敷
候事

訴ニ及ヒ候ニ付テハ二小四元者奏者
之儀ニ付テハ酒造
組通ヲ以テ申渡シ

一通之法中に著者の服する事

一要衆協力科理金銭の事

一諸般出納の事

一諸般帳簿の事

一諸般書類の保存の事

一諸般什器の事

一諸般庶務の事

一諸般相互扶助の事

一諸般慶弔の事

一諸般祭典の事

一諸般講習の事

一諸般会合の事

一諸般調査の事

一諸般統計の事

一諸般報告の事

一諸般連絡の事

一諸般指導の事

一諸般表彰の事

一諸般懲戒の事

一諸般訴訟の事

一諸般和解の事

一諸般仲裁の事

一諸般調停の事

一諸般審判の事

一諸般執行の事

一諸般保全の事

一諸般保険の事

一諸般年金の事

一諸般恩給の事

一諸般退職の事

一諸般解雇の事

一諸般復職の事

一諸般転勤の事

一諸般昇進の事

一諸般降格の事

一諸般懲罰の事

一諸般免職の事

一諸般辞職の事

一諸般引退の事

一諸般死亡の事

一諸般葬儀の事

一諸般相続の事

一諸般遺言の事

一諸般遺産の事

一諸般贈与の事

一諸般寄附の事

一諸般募金の事

一諸般会計の事

一諸般予算の事

一諸般決算の事

一諸般監査の事

一諸般報酬の事

一諸般給与の事

一諸般賞与の事

一諸般退職金

一 法規處分一件一計三要之秘件
當事者
一 奧中委報事
一 法規分
上 樣張
進 事

沸者
器布一折 完 紫周衣
御櫃 一合 蓋
いつもの事 盛振

九
飯櫃 沸二方振
鶏一羽 箱ノ
完

御櫃 一合 蓋ノ
完

九
飯櫃 振
大豆 加減
鶏一羽 箱ノ
御櫃 一合 蓋ノ
完

九
飯櫃 振 於宮振

進上
弱一箱
市橋氏更定

小川松寿
松村但馬
平田玄門
古川将監
松村作兵衛
田淵喜藏

今度更定

小川丹下
平田
古川治藏

一

右通り候
一 牡丹進上
　　進上
　　御持筒衆
　　鉄
　　一枚

右 御家督初而
御入国ニ付御太刀
御馬御献上之
御祝儀被
仰出候ニ付
御請申上候
以上

二月

〃 状来ル有之

右状来ル二付御達

書月廿日

江
杉

二人ヨリ廿日之義度御届

別紙之通出府ニ付用向
無之様取計可申候以上

二月廿日

領主

御下知

一 平田要蔵 御下知御用掛

一 善蔵 御下知御用掛

為御取締 御下知被仰渡候 依而

名主役 為勤申候事 依而

如件

二月 平田要蔵

杉村但馬殿

村
古川
小川

組馬役
御将軍役
丹下役

義度公御書
田安御道具

[illegible]
[illegible]
[illegible]

村
七
小
七

個馬
將
丹
法

教
田